

平成30年3月8日

平成30年第1回神奈川県議会定例会

東京オリンピック・パラリンピック・
ラグビーワールドカップ特別委員会資料

ス ポ ー ツ 局

1	ラグビーワールドカップ2019™及び東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会に向けた主な取組みについて.....	1
---	--	---

1 ラグビーワールドカップ2019™及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた主な取組みについて

(1) ラグビーワールドカップ2019™に向けた主な取組み

ア 経過

共同開催都市である県と横浜市は、ラグビーワールドカップ2019組織委員会（以下「組織委員会」という。）と会場整備や開催準備に係る協議、調整を実施している。

あわせて、県では、県内市町村、企業等と連携し、ラグビーワールドカップ2019™の周知やラグビーの普及など、全県での機運醸成に向けた取組みを展開している。

平成29年11月2日にラグビーワールドカップ2019™試合日程が発表され、横浜では決勝戦、準決勝を含む7試合の開催が決定した。平成30年1月19日から始まったチケット先行抽選販売に合わせ、県では、チケット販売方法や試合日程などの周知を行っている。

また、昨年11月の日本代表戦に続く国際試合の誘致を行ってきたところ、平成30年1月31日、ニュージーランド代表とオーストラリア代表の国際試合「ブレディスローカップ（※）」が、10月27日に横浜国際総合競技場で開催されることが決定した。

※ ブレディスローカップ：両国間で80年以上続く伝統ある試合。日本で行われるのは2009年以来、2回目。

イ 会場整備・開催準備の取組み

ラグビーワールドカップを主催するワールドラグビーから大会運営を委託されている、ラグビーワールドカップリミテッド（RWCL）及び組織委員会による現地調査等を踏まえ、交通・警備などを含む会場整備やファンゾーン（※）及びボランティアに係る運営計画策定に向けた協議を行っている。

※ ファンゾーン：大会期間中に、開催都市等に設置されるイベントスペース。

ウ 平成29年度の普及啓発・機運醸成の取組み

(ア) 横浜市との共同事業

横浜国際総合競技場では初のラグビー国際試合となる日本代表対オーストラリア代表戦の誘致やパブリックビューイング、大会2年

前イベント、決勝戦2年前イベントなどの事業を実施した。また、3月から、大会開催を周知する装飾等をラグビーワールドカップの統一的な基調で行うシティドレッシングを実施する。

<平成29年度実績>

主な事業	日程	開催場所
パブリックビューイング	5月20日(土) (約200人)	ヨコハマNEWSハーバー (スーパーラグビー)
	6月10日(土) (約500人)	クィーンズスクエア横浜 (日本代表戦)
小学校への出前授業	6月13日(火)～ 2月23日(金) 計18回実施	横浜市内小学校(18校)
ストリートラグビー体験	9月16日(土) (約300人)	象の鼻パーク (ベトナムフェスタin神奈川で 実施)
大会2年前イベント 開催都市特別サポーター (神奈川・横浜)(※) 委嘱式	9月18日(月・祝) (約1,500人)	MARK IS みなとみらい、グラン モール公園
日本代表戦の誘致	11月4日(土) (43,621人)	横浜国際総合競技場 (日本代表対オーストラリア代 表戦)
決勝戦2年前イベント 横浜ラグビーカーニバル	11月4日(土) (約5,000人)	横浜国際総合競技場周辺

注 「日程」中に記載した人数は参加者数

※ ラグビーワールドカップ2019™開催都市特別サポーター(神奈川・横浜)

<五十音順>

鈴木 彩香 氏 (女子ラグビー日本代表選手)
林 敏之 氏 (元男子ラグビー日本代表選手)
吉田 義人 氏 (元男子ラグビー日本代表選手)

(イ) 全県での取組み及び横浜市以外の市町村や企業等と連携した取組み

新たに県内大学との連携、市町村や企業との連携の拡充、初心者向けラグビートップリーグ観戦バスツアーを実施したほか、県内の様々なイベント等でラグビーワールドカップPRブースを出展するなど普及啓発活動を実施した。また、3月にはチケットの開催都市住民先行抽選販売に合わせて、県内3箇所でPRイベントを実施する。

<平成29年度実績・実施予定>

主な事業	日 程	開催場所
東海大学ラグビー部 「丹沢祭」	7月9日(日) (約1,000人)	東海大学湘南キャンパスラグビー場 (大学との連携：東海大学)
ストリートラグビー体験	8月27日(日) (約1,000人)	小田原城址公園 (市町村との共同事業：小田原市)
親子ラグビーバスツアー	10月7日(土) (70人)	東京ガス大森グラウンド (企業との連携：東京ガス(株)神奈川支社)
親子ラグビー合宿	10月14日(土) 10月15日(日) (45人)	星槎箱根仙石原スポーツクラブグラウンド (総合型スポーツクラブとの連携：星槎箱根仙石原総合型スポーツクラブ)
PRブース出展 (あつぎ国際大道芸2017)	11月11日(土) 11月12日(日) (約1,000人)	厚木中央公園 (市町村との共同事業：厚木市)
かながわラグビーフェスタ in海老名	11月19日(日) (約800人)	海老名中央公園 (市町村との共同事業：海老名市)
初心者向けラグビートップ リーグ観戦バスツアー	12月16日(土) (87人)	ニッパツ三ツ沢球技場他
開催都市住民へのチケット 先行抽選販売PRイベント	3月18日(日)	グランツリー武蔵小杉(川崎市)
	3月24日(土)	アリオ橋本(相模原市)
	3月25日(日)	湘南テラスモール(藤沢市)

注 「日程」中に記載した人数は参加者数

エ 平成30年度の普及啓発・機運醸成の取組み

(ア) 横浜市との共同事業

共同開催都市である横浜市と連携し、交通・警備やファンゾーンの計画作成、シティドレッシング、ボランティアの募集など大会に向け必要な準備を行うとともに、国際試合「ブレディスローカップ」開催のほか、大会1年前イベントを実施し、大会の機運醸成に取り組む。

(イ) 全県での取組み及び横浜市以外の市町村や企業等と連携した取組み

県内全域で大会の成功に向けた機運醸成を図るため、市町村と連携し、県内キャラバンイベントやパブリックビューイング等普及啓発イベントを実施する。また、企業・大学等と連携しラグビー体験

イベント等を行う。

オ ラグビーワールドカップ2019™試合日程

ラグビーワールドカップ2019™決勝戦の2年前にあたる平成29年11月2日に、大会の全48試合の試合日程及び会場が決定し、横浜国際総合競技場では決勝、準決勝2試合を含めて7試合が開催されることとなった。

<横浜国際総合競技場での開催試合>

【決勝戦、準決勝2試合、プール戦4試合】

No	日 程	キックオフ	試 合
1	9月21日(土)	18:45	ニュージーランド 対 南アフリカ
2	9月22日(日)	16:45	アイルランド 対 スコットランド
3	10月12日(土)	17:15	イングランド 対 フランス
4	10月13日(日)	19:45	日本 対 スコットランド
5	10月26日(土)	17:00	準決勝1
6	10月27日(日)	18:00	準決勝2
7	11月2日(土)	18:00	決勝

カ 公認チームキャンプ地の選定

ラグビーワールドカップ2019™の大会期間中にチームが滞在する公認チームキャンプ地については、全国から76件、90自治体、本県から4件、5自治体が応募した。

今後、出場チームの視察を経て公認チームキャンプ地が平成30年4月以降に順次決定される。

(ア) 県内の公認チームキャンプ地応募状況

応募件数 4件 応募自治体数 5自治体

神奈川県・藤沢市(共同応募)、横浜市、厚木市、海老名市

(参考) 全国の応募状況 応募件数 76件

応募自治体数 90件

(イ) 公認チームキャンプ地の選定スケジュール

平成29年1月～9月 組織委員会による実地審査

平成29年12月～ チームによる現地視察

平成30年4月以降 公認チームキャンプ地決定

(順次)

キ ラグビーワールドカップ2019™チケット販売

平成30年1月19日から、ラグビーワールドカップ2019™チケットの先行抽選販売が始まった。特に、3月19日から4月12日までは、開催都市住民を対象とした先行抽選販売の申込期間となっており、イベントを開催するなど重点的に県民への周知を図る。

ク 大会開催に向けた今後の主な予定

平成30年3月～6月 シティドレッシング（第1回目）

春 ボランティア募集要項発表

4月1日 組織委員会地域支部設置

10月27日 ブレディスローカップ（ニュージーランド代表 対 オーストラリア代表戦）開催

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた主な取り組み
ア 経過

神奈川県内における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）の開催競技については、江の島でのセーリング競技、横浜スタジアムでの野球／ソフトボール競技及び横浜国際総合競技場でのサッカー競技の3競技・3会場となっている。

このうち、セーリング競技については、江の島開催に向けた準備を円滑に進めるため、県では、平成29年5月31日に合意された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の役割（経費）分担に関する基本的な方向について」、いわゆる大枠合意に基づき、必要な恒久施設の整備を進めるとともに、既存艇利用者や漁業関係者、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）との調整を行っている。

また、セーリング競技をはじめとした東京2020大会の機運醸成、普及啓発に向けた取り組み及び事前キャンプの誘致を進めている。

イ セーリング競技関係

(ア) 組織委員会との現在の調整状況

a 日程及び既存艇移動に関する調整状況

時期	大会名	開催方法及び日程	既存艇移動
平成30年	セーリングワールドカップ シリーズ江の島大会2018	・大会の中で、オリンピックに必要なテストの一部を実施予定 ・開催時期は9月9日(日)～9月16日(日)	・江の島島内での移動が中心 ・利用者が出入艇ができるよう調整中(艇置料の返還は発生しない) ・移動期間を2週間程度に短縮することを検討中
平成31年	テストイベント セーリングワールドカップ シリーズ江の島大会2019	両大会を兼ねて、または近接させる方向で調整中	調整中
平成32年	セーリングワールドカップ シリーズ江の島大会2020	調整中	調整中
	オリンピック本大会	7月24日～8月9日の間で実施	全艇を島外に移動する方向で調整中

b レースエリアに関する調整状況

平成29年11月7日に組織委員会が、関係する漁業関係者にレースエリア仮案を提示し、意見交換を行った。

また、平成30年2月22日には、関係する漁業関係者から仮案等に対する具体的な意見要望を取りまとめた要望書が組織委員会等に提出された。

現在、漁業関係者からの要望及び競技団体からの意見を踏まえ、組織委員会等が検討を行っている。

c 輸送・交通対策に関する検討

(a) 組織委員会による会議の設置

・輸送連絡調整会議

東京圏のほか、選手村からの輸送を行わない地方会場ごとに、組織委員会、関係自治体、交通管理者、経済団体等を構成メンバーとする「輸送連絡調整会議」が設置され、輸送ルートや交通マネジメント等に関する検討に着手した。

(b) 県による会議の設置

・江の島セーリング競技推進連絡会議

県、相模湾沿岸市町、地元の関係団体等を構成メンバーとし、

江の島会場でのセーリング競技の円滑な実施に向け、輸送・交通対策等に関する関係者間の連絡調整を行っている。

平成30年2月5日に第4回会議を開催し、組織委員会から大会時の輸送に関する概要を、県から大会に向けた準備状況等を説明し、意見交換を行った。

(イ) 恒久施設の整備

a セーリングセンター（仮称）の整備

東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技の円滑な運営及び日本人選手の活躍支援を図るとともに、オリンピック後も国際的な大会を円滑に実施し、次代を担うセーラーの育成拠点とするため、艇整備庫等を備えた新たな施設「セーリングセンター（仮称）」の新築工事を行う。（平成30年度当初予算案で提案（県土整備局所管））

b 江の島大橋の改修

東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技の成功と、湘南港の機能強化や江の島地域の活性化を図るため、江の島大橋の拡幅整備等を行う。（平成30年度当初予算案で提案（県土整備局所管））

c 給油施設の整備

東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技をはじめ国際大会の円滑な実施を支えるための給油施設については、平成29年台風第21号の高潮・高波被害を受け、当初の設置予定箇所では、越波・浸水被害が想定されることから、一部の給油タンクを地下タンク式に変更するための設計及びその整備を行う。（平成29年度2月補正予算で提案（県土整備局所管））

d その他

東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技の開催に相応しい会場を準備するため、湘南港の漁港区の船揚場やマリーナ港区の浮き桟橋等の補修、トイレの改修に必要な設計や外国人観光客の受入環境の充実を図るためWi-Fi設備等の整備を行う。（平成30年度当初予算案で提案（産業労働局・県土整備局所管））

(ウ) セーリング競技の機運醸成及び普及啓発に向けた取組み

a セーリング体験会の実施

江の島ヨットハーバー等において、小・中・高校生や障がいのある方を対象としたセーリング海上体験会を、また、地域住民が多く集まる市民祭り等において、セーリング出張型体験会を実施した。

さらに、藤沢市のテラスモール湘南において、セーリング陸上体験会を実施した。

また、平成30年度は、新たに親子向け海上体験会を実施するほか、陸上で行う出張型体験会について、海岸沿いの市町以外にも対象を広げて実施する。

<平成29年度実績>

種 類	日 程	開催場所
海上体験会	7月16日(日) (40人)	八景島マリーナ
	7月17日(月・祝) (44人)	
	7月30日(日) (45人)	江の島ヨットハーバー
	8月10日(木) (46人)	
	9月3日(日) (44人)	
	10月15日(日) (21人)	
	9月23日(土・祝) (27人)	横浜ベイサイドマリーナ
出張型体験会	①6月3日(土) (408人) ②8月6日(日) (596人) ③9月23日(土・祝) } (1,163人) 9月24日(日)	①横須賀カレーフェスティバル ②小田原みなとまつり ③藤沢市民まつり
東京2020大会 1,000日前イ ベ ントでの陸上 体験会	10月28日(土)	テラスモール湘南

注 「日程」中に記載した人数は参加者数

b デジタルサイネージ等を活用した広報

セーリング海上体験会の告知を、駅構内のデジタルサイネージで放映した。

また、セーリング競技の迫力を伝える動画等を、電車内のデジタルサイネージや映画館で上映される広告等で放映した。

<平成29年度デジタルサイネージ等放映実績>

場 所	期 間
京急横須賀中央駅	7月1日(土)～7月31日(月)
テラスモール湘南	10月1日(日)～10月28日(土)
小田急線車内	10月9日(月・祝)～10月28日(土)
横浜ブルク13	10月7日(土)～10月28日(土)
109シネマズ湘南	
TOHOシネマズ小田原	

c セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018開催に向けた取組み

平成29年11月14日、競技団体が中心となり、知事を名誉会長として、藤沢市内関係団体、関係市町、県等からなる実行委員会が設立された。

県では、東京2020オリンピック競技大会に向けて、セーリング競技の盛り上げにはずみをつけるとともに、同競技の普及拡大等を図るため、セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018の開催経費の一部を負担する。(平成30年度当初予算案で提案)

ウ 東京2020大会全体の機運醸成等に向けた取組み

(ア) フラッグツアーの実施

平成29年9月3日に、神奈川県庁本庁舎正面玄関前において、セーリング競技の会場所在市の藤沢市長と、野球／ソフトボール競技及びサッカー競技の会場所在市の横浜市長とともに、フラッグ歓迎イベントを開催した。

また、9月4日から11月6日まで約2ヶ月間をかけて、オリンピックフラッグ及びパラリンピックフラッグが県内全市町村を巡回した。

(イ) 東京2020大会1,000日前イベントの実施

オリンピック開催まで1,000日前となる平成29年10月28日に、東京2020大会を盛り上げるため、オリンピック、パラリンピックによるトークショーや、ボルダリングなどの体験イベントを実施するとともに、野球／ソフトボール競技及びサッカー競技の開催を周知するパンフレットを配布した。

日程：平成29年10月28日（土）

会場：テラスモール湘南（藤沢市）

来場者数：約5,500人

平成30年度は、大会2年前イベントを開催するほか、新たに、オリンピック、パラリンピックの講演やスポーツ体験を通じて、大会の意義を県民に広く伝える教室等を実施する。

エ セーリング競技以外の県内開催競技

野球／ソフトボール競技及びサッカー競技については、会場を所有する横浜市が主体となって、開催に向けた準備を進めている。

県は、平成29年5月31日の大枠合意に基づき、県警察による警備な

ど、競技の円滑な運営に向けた諸課題の整理や対応などについて、横浜市と連携を図り、検討を進めていく。

また、野球／ソフトボール競技及びサッカー競技を含めた県内で実施される競技を県内全域で盛り上げるため、機運醸成に向けた取組みを横浜市と連携して実施していく。

(ア) 野球／ソフトボール競技

野球／ソフトボール競技の主会場である横浜スタジアムでは、東京2020大会も見据え、観客席の増席やエレベーターの設置等を含む増築・改修が進められている。

(イ) サッカー競技

サッカー競技の会場の一つである横浜国際総合競技場では、ラグビーワールドカップ2019™に向け、照明設備の更新や芝の整備のほか、安全・機能確保のための保全等の整備が、東京2020大会も見据えて進められている。

オ 事前キャンプ誘致の取組み

(ア) 県内における事前キャンプ誘致の状況

神奈川県内では、平成30年2月現在、県及び5市3町5団体が、7カ国（8件）と事前キャンプに関する協定等を締結している。

平成30年度も、引き続き東京2020大会の各国・地域の事前キャンプを県内に誘致するため、オール神奈川での誘致活動を実施するとともに、視察等の受入れを行う。

<県内における事前キャンプ誘致の状況>

No	協定等締結年月	団体名	相手国
1	平成27年9月	県、小田原市、箱根町、大磯町、星槎グループ	エリトリア国
2	平成28年2月	横浜市、川崎市、慶應義塾大学	英国
3	平成28年10月	県、平塚市	リトアニア共和国
4	平成29年4月	県、小田原市、箱根町、大磯町、星槎グループ	ブータン王国
5	平成29年6月	相模原市(※)	ブラジル連邦共和国
6	平成29年7月	葉山町、大同生命保険(株)	英国 (セーリングチーム)
7	平成29年10月	小田原市	モルディブ共和国
8	平成30年1月	県、相模原市、(公社)日本ボート協会	カナダ(ボートチーム)

※ ブラジル連邦共和国オリンピック委員会との覚書は、相模原市のほか

(公財)日本オリンピック委員会(JOC)、埼玉県、新座市、立教学
院、東京都中央区、江東区、大田区との間で締結。

(イ) 県内における「ホストタウン」の登録状況

神奈川県内では、平成30年2月現在、県及び6市3町が、7カ国の「ホストタウン」として正式に登録されている。

<県内における「ホストタウン」の登録状況>

No	登録年月	登録団体名	相手国
1	平成28年1月	○県、小田原市、箱根町、大磯町	エリトリア国、ブータン王国(※)
2		横浜市	英国
3		川崎市	英国
4		○平塚市、県	リトアニア共和国
5		厚木市	ニュージーランド
6	平成29年7月	小田原市	モルディブ共和国
7		葉山町	英国
8	平成29年12月	相模原市	ブラジル連邦共和国

注1 (参考)「ホストタウン」について

政府全体で推進している取組み。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、全国の自治体と参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、スポーツ立国、共生社会の実現、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資することを目的としている。

地域住民と大会参加国等との交流計画を策定した自治体は、一定の手続きを経て、「ホストタウン」として登録を受けることができる。

なお、事前キャンプの実施が登録の前提ではない。

注2 ○印は、申請主体

※ ブータン王国は、平成28年12月に追加登録された。

